

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の状態判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)	◎	＊	＊	＊
	○	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	お客様の様子	・土日にイベントが開催されるようになり、人が集まってきている。
	○	百貨店（広報担当）	来客数の動き	・来客数の増加に気温の低下もあいまって、冬物商材の需要が伸びてきた。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・新商材や新企画の展開により、売上は前年を10%上回っている。
	○	百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気温に応じて2024年秋冬商材の動きが活発になっている。
	○	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・日々、気温差はあるものの、重衣料の動きが良くなっている。一部でバーゲンセールがスタートしているところもあり、週末は来客数が多い。ただし、来客数、売上共に前年を下回っている。
	○	百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月については、婦人服部門が年齢のバランス良く、前年をクリアしており、従来の偏重型の売行き動向から少し安定してきている。お歳暮ギフトは市場全体が縮小気味であり厳しい状況だが、元売場は活況である。
	○	スーパー（業務開発担当）	販売量の動き	・売上はまだまだであるが、販売数量、来客数共に前年を2ポイント程度上回っている。
	○	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・公共工事が増えて朝夕の来客数が増えている。地域で格差はあるが、平日の来店客の中心が公共工事関係者となっており、主食や飲料中心に販売を伸ばしている。
	○	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数は変わらないが、購入単価や購入点数が増えている。
	○	乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数と売上が上昇傾向にあり、市場の動きも良い方向に動いている。
	○	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・客が来るときは一遍に来るが、来ないときは全く来ない。
	○	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・9月と比べると来客数が増えており、前年同月よりも微増傾向にある。予約の来客数も前年と比べると増加傾向となっている。
	○	観光型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・秋には県下で森の芸術祭があり、集客がみられた。
	○	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・12月の宿泊のペースが3か月前のペースより5%ほど良くなっている。また、2か月前までは完売は難しいとの判断だったレストランのおせちの販売等も少し伸びがあり、結果完売となった。
	○	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルス感染症の影響の緩和により、景気はやや良くなっている。
	○	ゴルフ場（営業担当）	来客数の動き	・12月に入り、天候が安定し、直前の予約が増えてきた。また、年末の予約も好調である。
	○	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・子育てグリーン住宅支援事業が発表され、現在の補助事業より拡充されるため、客からの問合せが増えてきている。
	□	商店街（代表者）	来客数の動き	・年末のにぎわいやざわさわ感がなく、街の雰囲気は年末らしくない。商店街を訪れる人も特に増えていない。
	□	商店街（理事）	来客数の動き	・週末は家族連れやカップルのウィンドウショッピングが多いが、入店には至らない。
□	一般小売店〔食品〕	来客数の動き	・値上がりの影響により、来客数は前年割れが続いている状況である。	
□	一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・日本銀行の短観によると、当地方だけがマイナスで、当社も国内の売上は単月、累計共に前年比マイナスと大変厳しい状態が続いている。輸出があるため、全体の売上は何とか前年並みを維持しているが、とにかく先行き不安定な日々を過ごしている。	
□	一般小売店〔印章〕（経営者）	販売量の動き	・物価がこれほど上がれば、景気が良くなるはずがない。	

<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・人出はある程度維持しているが、客の消費意欲はそこまでではないとみられる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・数百万円の美術品や百万円台のブランドバッグなどが売れ、今月は良かったが、来月は安心できない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（外商担当）	単価の動き	・販売点数は前年を上回っているが、高額商品の販売が低迷し、売上が前年を下回っている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数は前年や3か月前と変わらない。また、値上げがあったにもかかわらず、売上もほぼ前年並みとなっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・相変わらず商品の値上がりは続いており、買上点数が減少している。単価は当然上昇するものの、買上点数の前年割れにより、売上が伸長しない状況である。また、客の来店頻度も減少傾向である。年末年始に向けても同様の傾向が継続する見込みである。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・週末は少し財布のひもが緩むものの、客が無駄な買物をしておらず、特に平日の主婦だけでの買物がその傾向にある。12月の買上点数は前年比97.1%で、クリスマス商戦もケーキなどが苦戦し、売上は前年比95%であった。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	販売量の動き	・直近3か月の販売は悪い状況が続いている。割引デーに来客数が集中し、イベントや催事が無い平日の来客数が落ち込んでいる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数はもちろん客単価も下がっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・来客数が前年割れするも、1品単価の上昇により売上が前年を上回る状況が続いていたが、最近では、節約志向により1人当たりの買上点数が前年割れするも、来客数が前年を上回り、売上は前年を上回る状況となっている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・補助金の減額でガソリン価格も値上がりし、客の節約意識が再び高まっている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数はほとんど変わらないが、客単価が上昇している。特にクリスマスについては、ケーキ、オードブル、チキンなどの単価が上昇しているため、1人当たりの販売額が増加している。ただし、来客数がさほど増加していないため、今後は来客数を伸ばすことが重要になってくる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・客が衝動買いを最低限に抑えており、購入点数が苦戦を強いられている。また、イベント商材も単価が低い物を購入する傾向があった。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・景気の良い話を聞かない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・仕入価格が上昇しているため、厳しい状況である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（代表）	販売量の動き	・商品が動き始めた理由は、気温がようやく冬らしくなったからであり、景気が良くなったからではない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・高額商品を中心に販売量が伸びておらず、景気は悪くなっている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・客の懐事情に特に着目している。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（業務担当）	販売量の動き	・物価高騰やガソリン価格の値上げなどがあり、客も慎重であるため、販売量も余り変化がない。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・景気が良くなっているという感じより、円安による価格高騰でコストが上昇し、利益が減少している影響の方が大きい。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [時計]（経営者）	来客数の動き	・年末にもかかわらず、来客数が伸びない。客単価は悪くないが、消費が上向かない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [土産物]（経営者）	来客数の動き	・来客数は変わらないが、売れる商品は高くても価値を認めた商品かセール品かのどちらかであり、中間価格帯の商品が売れていない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・特に変わりが無い。

□	観光型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・通常は10～11月に昼の宴会をする団体のいくつか、予約が埋まっていたことで、12月にずらして利用したため、前年より利用客数や組数が伸びた。
□	都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・12月は団体の動きが新型コロナウイルス感染症発生前まで回復していないものの、個人の予約が順調に回復している。
□	都市型ホテル (宿泊担当)	来客数の動き	・インバウンドは相変わらず好調だが、国内についてはさほど大きな変化がない。
□	旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・前年度より、景気回復しているが、新型コロナウイルス感染症発生前には到底追い付けない。
□	旅行代理店(支店長)	販売量の動き	・年末年始の日並びが非常に良いにもかかわらず、主力となる海外旅行の大幅な伸びがない。旅行者数は前年より増加し、平均費用も円安や海外の物価高などの影響を受け上昇しているが、旅行者数が伸びないと厳しい。
□	タクシー運転手	来客数の動き	・昼は利用客がいるが、夜が良くない。前年、前々年と比べても、12月なのに乗車率が良くない。
□	通信会社(企画担当)	お客様の様子	・当月はボーナス時期だったが、特にふだんより活発な購買や商材検討はみられず、少し低調な営業成果となった。ただし、今後、下向きという見通しではない。
□	放送通信サービス(総務経理担当)	お客様の様子	・料金の支払、延滞、延滞回収率を見ても、大きな動きはない。
□	通信会社(総務担当)	それ以外	・個人的には、給与収入等は増えている方向であるが、税金や社会保険料が高く、物価も上がっているため、景気が良くなっているとは考えられない。ビジネス的にも、出張時の宿泊費が高騰し、コスト増加となっている。当県は観光客が増え、観光収入も増えていると考えるが、人口流出も多く、労働生産人口が減ることで、人材の確保に影響が出ている。
□	テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・予約数は順調に推移しているが、実績は天候に左右され少なくなっている。
□	競艇場(企画営業担当)	販売量の動き	・売上がほぼ横ばいである。
□	美容室(経営者)	それ以外	・客が節約志向にあり、来店間隔が長くなっている。単価を下げないと集客できない状況である。
□	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・これまで見合わせていた新築住宅、リノベーション、小規模ビルなどのプロジェクトが再開してきた。
□	住宅販売会社 (住宅設計担当)	販売量の動き	・顧客からの情報取得量に大きな変化がない。年末年始に差し掛かり、販売量増加は見込めない。
□	住宅販売会社 (事業推進担当)	単価の動き	・具体的な賃金上昇がみられない状況で、郊外を除く市内の販売単価の上昇が継続しており、ますます購入層の手の届かない価格になっている。
▲	商店街(代表者)	単価の動き	・客に購買意欲がみられず、相変わらず商品を購入しない。
▲	商店街(代表者)	来客数の動き	・客の動きが悪く、商店街の来客数も少ない。
▲	一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	お客様の様子	・高単価商品の売行きが悪くなっている。
▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客の動機づけとなるお知らせを常に行うが、客の反応が鈍い。
▲	家電量販店(店長)	来客数の動き	・来客数に大きな変化がなく、相変わらず減少している。
▲	家電量販店(副店長)	来客数の動き	・来客数が12月は90%で推移しており、減少が続いている。
▲	乗用車販売店 (統括)	販売量の動き	・12月の販売量は前年比88%と大変厳しい状況である。
▲	乗用車販売店 (リース担当)	来客数の動き	・メンテナンスについて、交換部品数をできるだけ少なくしたいという客の意見が多くなっている。
▲	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・忘年会シーズンは、法人の利用件数が前年を上回ったが、組人数は減少し、1組当たりの利用金額も減少している。食事は前年を上回っているが、飲料、特に生ビールが伸び悩んでいる。また、一般客の利用も回復していない。

	▲	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・生活物品全てが値上がりしているため、とにかく安い物ということで、客が品質ではなく、安さを重視している。
	▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・詐欺電話の根本的な防止や日用品価格の高騰による節約のため、高齢者層で固定電話の解約が増加している。
	▲	設計事務所	お客様の様子	・新しい計画について、どこまでできるか分からないが進めているようである。
	▲	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・資材高騰の影響を受けて、客の検討する予算では折り合わない状況になっており、動きが鈍くなっている。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染症が終息したが、客の節約志向は根強く、来客数がなかなか回復しない。
	×	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・多数の客から政治が不安定なことで近未来が不安であるため、消費を抑えていると聞いている。
	×	美容室（経営者）	販売量の動き	・例年であれば、この時期はボーナスが支給されるため、客が割と商品を購入するが、今年は購入が余りなく、客の財布のひもが固くなっている。
企業 動向 関連	◎	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・忙しい状況が続いている。
(中国)	○	化学工業（総務担当）	取引先の様子	・物価高ではあるが、取引先の業績は回復しつつあり、景気は上向きとみられる。
	○	輸送業	受注量や販売量の動き	・受注が増えている。
	○	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数が1.9%増加、成約件数も1.1%増加しており、景気がやや良くなっているとみられる。
	□	農林水産業（従業員）	受注量や販売量の動き	・景気は良くも悪くもなっていない。
	□	木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・前月は少し上向きそうな気配であったが、伸び悩んでいるのが現状である。
	□	窯業・土石製品製造業（総経理担当）	受注量や販売量の動き	・大型注文等もなく、生産量に変化はない。
	□	鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気に大きな変化はない。
	□	金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・定時工数の仕事量は確保しているが、この状況は過去6か月変わっていない。
	□	一般機械器具製造業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・国内販売は前年並みで特に変化がなく、海外は減少傾向にはあるが、為替も円安傾向から大きな変化がないことから、変わらない。
	□	電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・自動車向け製品や産業用機械向け製品は引き続き顧客の生産調整が続いており、中国経済の減速による需要減少も続いている。
	□	建設業（経営者）	取引先の様子	・新築プロジェクトの契約に非常に時間を要している。
	□	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・継続的な大型物件が予定され、計画変更のリスクはあるものの、景気は好調である。
	□	輸送業（業務推進担当）	取引先の様子	・特に景気に関する大きなプラス要素やマイナス要素もなく、取引先の動向にも目立った変化はない。
	□	輸送業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・企業訪問におけるヒアリングにおいて、直近では大きな変化はみられない。
	□	通信業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・データセンターの見学会及び利用引き合い量はここ数か月は横ばい、関連するICTソリューションの引き合い量も横ばいが継続している。計画的なスケジュールで顧客も購入していると想定される。
	□	金融業（支店長）	取引先の様子	・例年12月は受注量が増加する傾向にあるものの、前年と比べると受注量が微減となっていることから、景気の変化はみられない。
	□	会計事務所（経営者）	受注量や販売量の動き	・アンケート分析やスポット業務が少しずつ動き出したものの、取引先の倒産も発生し、今後の業務量への影響が懸念される。
	▲	食料品製造業（経営者）	それ以外	・物流は半減し、漁獲量も減少しているため、厳しい状況である。
	▲	建設業	受注価格や販売価格の動き	・物価上昇が続いているため、景気はやや悪くなる。

	▲	金融業（経済産業調査担当）	それ以外	・食料品価格の上昇が再加速するなど家計負担は増している。
	×	—	—	—
雇用 関連	◎	—	—	—
(中国)	○	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・物価高騰に賃金上昇が追い付いていないため、将来への備えで、消費が振るわない。輸出産業やB to B企業等価格転嫁ができる一部企業は好調だが、もう少し様子見の状況である。
	○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・職業紹介事業において、求職者の登録数が3か月前と比較して112%増となっている。年末にボーナスをもらった後、年度替わりに向けて、転職活動が活発化する。
	□	人材派遣会社（事業部長）	それ以外	・求人数自体は前年同月を大幅に上回っているものの、その理由の多くが、業績好調における増員というよりも、人材の離職による補充となっている。
	□	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・これまで同様、求職者の登録者数は伸び悩んでおり、動きが悪い状況が変わっていない。
	□	人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・企業の求人受注は引き続き好調であるが、求職者の確保がそれに追い付いていない。ただし、一部の企業では時給の上昇を許容することができず、採用控えの動きも出てきている。また、毎年4月に行う新入社員研修においては、一部企業において新卒社員を計画どおり採用できておらず、参加者が確保できていない。
	□	求人情報誌製作会社（総務担当）	それ以外	・いずれの企業も人材不足との話を聞くが、求人広告掲載企業数は横ばいないし若干減少している。
	□	求人情報誌製作会社（広告担当）	採用者数の動き	・変わらず、今の状態が続く。非メーカーなどは原材料価格の高止まりなどにより改善され、売上は微増となる。メーカーも売上がやや増加、小売業の売上も百貨店以外は微増となる。
	□	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・有効求人数に特に目立った動きはなく、また、有効求職者数も同様である。中小企業における人手不足感が続いているが、採用基準が下がっているわけではない。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	周辺企業の様子	・特に大きな動きがない。
	▲	人材派遣会社（求職者対応）	求人数の動き	・例年どおり、求人の動きが年末に向けて鈍くなっている。新規求職者も少なくなっている。
	▲	職業安定所（雇用関連担当）	周辺企業の様子	・人手不足感は継続しつつも、物価高騰や最低賃金引上げにより採用抑制をしている会社の一部ある。
	▲	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・採用ニーズがあってもそもそも人がいない。建築土木系人材、若手営業人材は特に堅調であり、求人ニーズに対して、求職者が全く追い付いていない。人数が限られているだけに物の増産のようにはいかず、手立てがない。
	×	—	—	—